

## 6. 先導科学研究科

## 生命共生体進化学専攻授業概要

受入れ可能学生数:若干名

授業科目	単位	授業科目の内容	担当教員	開講学期	曜日・時限	教室
生命科学と社会 I	1	生命科学を取り巻く倫理的社会的課題に関する話題を採り上げる。歴史的背景等の講義、ワークショップを通して、生命科学と社会の関係について考察する。(集中講義)	大西 勇喜謙	後期	2/6,2/7	共通棟講義室
科学・技術と社会 II	1	【先導研内の履修希望者が3名に満たない場合は開講しない】 科学技術が多大な社会的影響をもたらし、またその活動に多額の予算を要する現代の研究者には、科学と社会との関係を深く理解し、自身の研究の意義や社会的インパクトについて説明することが求められる。本授業では、自身の研究や、研究という営み一般が持つ社会的インパクトについて考え、議論する練習を行う。	伊藤 憲二	後期	1/16,1/17	共通棟講義室
科学と社会副論文入門	1	科学と社会副論文のための研究計画の立て方・論文の書き方の基礎を講義、ディスカッション、宿題等を通して学ぶ。各自がテーマを選び、それをもとに研究計画を書き上げることを目的とする。(講義)	飯田 香穂里	前期	4/20,6/11, 5/25,7/9, 9/10	共通棟講義室
生物科学副論文入門	1	生物科学副論文のための研究計画の立て方・論文の書き方の基礎を講義、ディスカッション、宿題等を通して学ぶ。各自がテーマを選び、それをもとに研究計画を書き上げることを目的とする。(講義)	印南 秀樹	前期	4/16, 他未定	共通棟講義室
科学技術社会論入門	1	この授業は新入生のうち科学と社会に関心のある者を対象として、科学と社会についての基本的文献のうち、邦訳のあるものを読む。履修者はすべての課題文献を読み、毎回その要約を提出することを必須とする。履修希望者は初回の授業の1週間前までに担当教員に連	伊藤 憲二	前期	5/28,6/4,6 /11,6/25,7 /2,7/9,7/2 8	共通棟講義室
生物統計学	2	生物学的データの統計解析について、その基本理論の講義と統計パッケージを用いた実習を通じて、統計解析の手法の習得と統計的思考についての理解を深めることを目指す。(集中講義)	佐々木 顕 大槻 久	前期	6/18,6/19, 6/20,6/27, 6/28,6/29	共通棟講義室
マイクロ・マクロ生物学	2	数理生物学、進化生物学、統合人類学、神経生物学の基本的概念を学ぶ。全体を通じて、進化学を包括的に理解する。	宅野 将平	前期	4/23~ 4/26	共通棟講義室
統合進化学	2	地球上の生命体は、分子・細胞から社会・生態まで複雑さの異なるさまざまな階層(システム)から構成されている。その各システムの進化を、“システムを構成する各要素”、“要素間の相互作用”及び“相互作用の記述(理論)”という観点から論述する。	颯田 葉子	後期	未定	共通棟講義室
人類遺伝学特論	1	現生人類の成り立ちについて、遺伝学的情報から明らかにされて来た事を紹介する。ヒトの特異性の獲得が遺伝的にどこまで説明されるのか、現生人類の遺伝的な多様性はどこまで明らかにされているのかという点について、最新の研究結果とともに議論する。また、これからの自然人類学の発展において遺伝学的なアプローチが果たす役割について論じる。	五條堀 淳	後期	11/14, 11/15	共通棟講義室
分子進化学特論	1	分子進化の中立説、自然選択、分子時計等の分子進化の基本概念について古典的な研究を含めて紹介し、分子進化のパターンや内在する進化機構について理解を深める。	大田 竜也	後期	1/23,1,24	共通棟講義室
進化的行動生態学特論	1	動物の行動を至近・究極の両面から考察し、適応進化のパターンとプロセスを考察する。本講義では、分野の基本概念、研究アプローチ、実証例を解説する。また、とくに重要な研究・文献に関して議論を行い、理解を深める。	沓掛 展之	前期	7/3,7/5	共通棟講義室
進化ゲーム理論特論	1	進化ゲーム理論は行動生態学などで広く用いられ、個体間の相互作用や生物社会の成り立ちを理解するうえで必須の理論である。本講義では古典的論文の解説を通して、進化ゲーム理論の数学的基礎と、具体的な応用例に関し論じる。(集中講義)	大槻 久	後期	11/7,11/8	共通棟講義室
科学史・科学技術社会論 I	1	啓蒙期以降の科学史を扱う。「科学と社会」分野の大学院生を主たる対象とする。リーディングとライティングの両方のスキルを養う。	水島 希	後期	10/22,10/ 29,11/5,11 /12,11/19, 11/26,12/ 10,12/17	共通棟講義室

授業科目	単位	授業科目の内容	担当教員	開講 学期	曜日・時限	教室
科学史・科学技術 社会論Ⅱ	1	「科学と社会」分野の大学院生を主たる対象とし、科学技術社会論の研究者となるための基礎的な文献を読む。履修者はすべての課題文献を読み、その要約を提出することを必須とする。	伊藤 憲二	後期	10/22,10/ 29,11/5,11 /12,11/19, 11/26,12/ 10,12/17	共通棟 講義室
先導科学特論ⅩⅡ (生物多様性特論)	1	地球上には数百万の生物の「種」が生息しており、お互いに相互作用することによって生物の多様性を作り出している。本特論では、生物多様性が創出されてきた機構と、それが維持される機構を講義する。また、学生が自身で考え参加する形式の講義を行う。(集中講義)	寺井 洋平	後期	1/30,1/31	共通棟 講義室
先導科学特論ⅩⅦ (社会調査法特論)	1	社会調査で用いられる質的・量的手法の基本概念とテクニックを学ぶ。研究デザイン、データ収集、分析手法を実践的に学んだ後、社会調査の倫理的側面についても議論する。(集中講義)	水島 希	後期	10/17, 10/18	共通棟 講義室

## 【備考】

- 曜日・時限・教室等詳細については、要問合せ
- 受講条件
  - ・原則として、当専攻の学生が履修登録している授業科目の場合に限り、他大学生・本学他専攻学生に開講される。
- 問い合わせ先  
総合研究大学院大学・先導科学研究科事務係  
TEL:046-858-1577, MAIL:office\_sendou@ml.soken.ac.jp